

ご 挨拶



東海信越地区歯科医学大会
当番県 (一社)愛知県歯科医師会
会 長 渡 邊 正 臣

平成25年度東海信越地区歯科医学大会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は2020年のオリンピックが東京に決定するという嬉しいニュースが舞い込み、今後我々歯科界においてはスポーツデンティストの育成が期待されようとしています。その中でこの大会は、中部地区最大のイベントであり、愛知県内外の歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士ならびにその関係者が一堂に会して現代歯科医学の進歩・発展を図るとともに、広く地域住民のために寄与せんとする学術大会であります。

今年度は「健やかに生きるための歯科医療」をメインテーマに、特別講演では兵庫医科大学歯科口腔外科学講座主任教授 岸本裕充先生を、企画講演では前奥羽大学歯学部成長発育歯学講座 歯科矯正学分野教授 東北矯正歯科学会会長 氷室利彦先生をお招きしました。

特別講演の岸本先生には「周術期のオーラルマネジメント」と題し、平成24年度診療報酬改定で新設された周術期口腔機能管理についてお話していただくことになっております。歯科の役割としての口腔ケアの重要性を認知し、今後の医科歯科連携を強固なものにする一助となれば幸いです。

また、企画講演の氷室先生には「口腔機能を重視した継続性のある歯科医療の提供」と題し、成長発育期の歯科医療の重要性、機能的顎矯正法の効果、患者・家族への説明の要点をお話していただきます。乳歯の時期からの口腔管理が早期に不正咬合の兆候を発見し予防矯正へと繋がりより良い口腔の健康が達成されると思います。

さらに例年同様に(一社)愛知県歯科技工士会ならびに(公社)愛知県歯科衛生士会の企画講演、企業企画講演、各団体のワークショップ、デンタルファミリー余技総合展等々充実した内容になっております。その他にも地域レベルでは名実ともに全国一といえます「第37回中部日本デンタルショー」も同時に開催され本大会に華を添えていただきます。

最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営等にご尽力賜りました関係各位のご努力に対し、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも絶大なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科技工士会

会 長 鈴 木 永 吉

この度の東海信越地区歯科医学大会、中部日本デンタルショーが開催される事に当たって(一社)愛知県歯科医師会、(社)愛知県衛生士会、東海歯科用品商協同組合をはじめ関係諸団体の方々に熱く感謝すると共に、私ども(一社)愛知県歯科技工士会が皆様と共にこの事業に参画出来る事は大いなる、喜びと感じる次第であります。

月日の流れははやく、前回の大会は名古屋シティマラソンと同日開催で、高橋尚子選手のラストラン日であったと記憶して居ります。高橋選手が色鮮やかな黄色のユニホーム姿で会場前の観衆に手を振って答えながら走って行った事がついこの間の様に感じられます。

私たち(一社)愛知県歯科技工士会も行政の法人移行に伴い、昨年7月新しく船出する事になりました。しかし、これまでの多くの課題は何も解決するには至っておりません。

世間では、アベノミクスによる経済の好転が叫ばれる昨今では有りますが、私共業界内においての閉塞感は相変わらずで、伴う経済問題、歯科技工士の減少問題、過重労働、様々な問題も持ち越しになっております。

しかし、ネガティブな事ばかり言っている暇は有りません！私共には『安心安全な補綴物』を提供すると言う大義が有り、使命が有るからであります。しかし、幸いな事に若い技工士達が大いに勉強に励み、様々な研修会、学会等でこの所、多く見かけるようになってきたと感じております。この東海信越地区歯科医学大会もその中に含まれる物と思っております。

この度(一社)愛知県歯科技工士会の企画講演は海外での講演、技術指導が豊富で、若い技工士達に人気の山田和臣先生(カस्पデンタルサプライ)に『私と審美材料～現代のマテリアルセレクション～』というタイトルで講演して頂きます。これからの歯科業界に於いて必須であるところのCAD/CAMについてのお話も有るかと思えます。

又、テーブルクリニックの演者、戸田辰也君、川村真一君の若い二人による発表はまさに、若手に依るパワーを感じさせるもので、歯科界の未来に明るさの様な物を感じさせて貰えると思っております。

ともあれ、現状は厳しき中に有るとは思われますが、歯科医師会の先生方を初めとして、関係諸団体の皆様方と協力し、業況をすこしでも好転すべく努力して参りたいと思えます。

本大会が、これらの一助になる事を願ってご挨拶とさせていただきます。

知性溢れる歯科医学大会の 開催にあたって



(社)愛知県歯科衛生士会

会長 池山 豊子

今年も東海信越地区歯科医学大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。この大会にご尽力くださいましたすべての関係者の皆様方に感謝申し上げます。

如月、新年を迎えて未だ新たな志のままに迎えるこの歯科医学の大会は、その年の自らの進むべき方向性を探るには最適なプレビューだといつも感じています。歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会が各職能の最前線を目論んで企画したプログラムのタイトルの活字を目で追い、各企業出展ブースの配置図を眺める。大会に参加する前の心躍る時間です。そこから醸し出される今年の香りが、歯科医療者を各自の未来像に駆り立て、なすべきミッションを探り出させる、と感じます。

「今年の歯科衛生士のミッションは何か？」

仲間の歯科衛生士へのメッセージをこめて本会では、毎年この医学大会の企画講演を考えますが、そのターゲットは常に診療所歯科衛生士です。

私ども歯科衛生士がもっとも多く就業している歯科診療所において必須の業務は歯周治療と歯科保健指導。このテーマについて本会は過去に何回も研修会を開催してきましたが、それにしても同じテーマでありながら、毎年がいつも新鮮で、治療に関する科学的思考もテクニックも治療者側の意識も、そして患者自身も確実に変化していることに感動を覚えます。「歯周治療」—この古くて新しいテーマの内容の確実な変遷は、医学的根拠に基づいて一步一步のプロセスを経ていることが本大会の企画講演などを通して見えてきます。それを学び取ることは、企画講演の後の心地よい興奮に現れます。興奮は技術と知識をしっかりと習得し得たような錯覚のなせる業ではありますが、明日へのエネルギーの予感です。そして自らの職を通した使命を知るのです。

職業はすべて社会貢献、人類の発展に寄与することを目的につくられています。だから学び続けることが重要なのです。まずはこの大きな学びの場に飛び込みたいと思います。

大会関係者のすべての皆様のますますのご健勝を祈念いたします。

ご 挨拶



東海歯科用品商協同組合理事長
中部デンタルショー実行委員長

渡 邊 禮 巳

第37回中部日本デンタルショー開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

今回は「東海信越地区歯科医学大会」との併設となり、開催日程は平成26年2月15日(土)・16日(日)でございます。会場は例年通り名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて開催致します。参加予定企業は約180社、入場者数は約一万を見込んでおります。

平成26年4月より消費税が8%になる予定ですが、大物機械等ご購入予定のお客様は、この機会に是非ともお買い求め戴きますことをお勧め致します。

さて、今回のデンタルショーにおきましては、昨今週刊誌等でも話題となっております「CAD/CAM」「インプラント」等を第2ファッション展示場で集中展示し、企業講演も同会場にて行います。

また、第1ファッション展示場では口腔ケア関連器材が一堂に会します。

いつもとは少し配置の違った会場ですが、例年ご好評を戴いております抽選会も、スタンプラリー形式にて実施致します。ご来場の際には、事前配付の「登録票(抽選券)」を是非ともご持参下さいますよう、お願い申し上げます。

私共東海歯科用品商協同組合は、地域歯科医療の安定と向上を願い、歯科器材の滞りなき供給を心掛けて活動していきます。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、開催にあたりまして(-社)愛知県歯科医師会、(-社)愛知県歯科技工士会、(公社)愛知県歯科衛生士会各位始め、出展社の皆様またご支援を戴いた関係各位より多大なるご協力ご尽力を賜りましたこと厚く御礼申し上げますと共に、各位益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

多数の皆様のご来場を心よりお待ちしております。